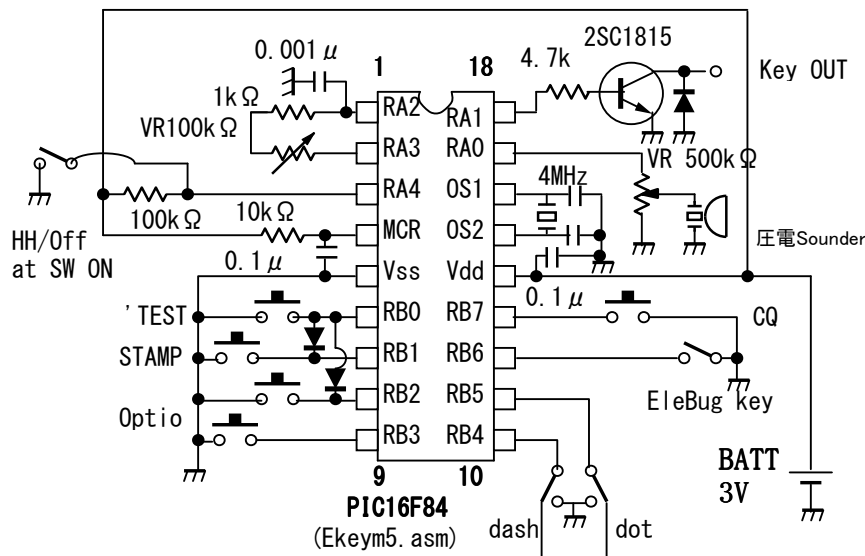


PIC EleKey (JK1XKP)

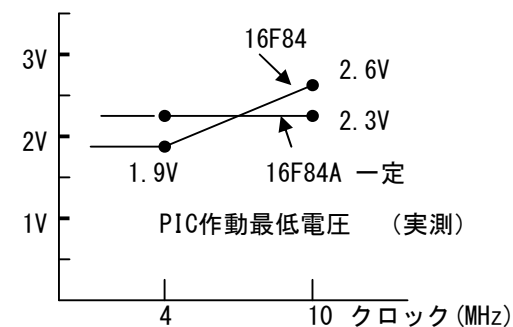


回路・部品について

1. PIC16F84, PIC16F84A-20/P どちらでも対応可。
PIC16F84のほうが、低電圧で動作する(下図)が、デスコンで入手難か(2014.4現在)。

2. クロック用セラミック発振子: 4MHz、3.58MHz、4.19MHz等。 Diode: 1S158相当
(クロック4MHzで、RA0に圧電サウンダーを接続すると、モニター音820Hzが出力される)

3. HH-SW=Offで Key Off時(約10秒後に)の待機電流は、約5 μ A。単3電池で1-2年は持



Elekeyの機能

1. HH機能

RA4=H (HH-SW OFF) でHH符号(8短点)自動機能。 RA4=L(SW ON)で同機能なし

2. Mark長/Space長=100/92

RB0 SW (Tact SW)を1秒間押しながら、電源ON(電池をつなげる)すると Mark長/Space長=100/92 となる。少しSpace長が短くなる(電池を切らない限り、持続)。
RB0 SW OPENで電源ONすると Mark長/Space長=100/100。

3. エレバグキー……RB6-SW ONでエレバグキー機能

1) 電源ON(電池をつなげる)時、RB6-SW OFFの場合: 通常のエレバグキー (dash keyを押しているときだけマーク信号。スペース間隔は、RA2-RA3間の 0.001uF+VRで決まる一定時間に自動修正)

2) 電源ON(電池をつなげる)時、RB6-SW ONの場合;半自動エレバグキー
(ある程度規則的に打つと、強制的に dash、dot、space、を規定の長さにする)

4. 複式電鍵

上記2)の状態 dash端子に複式電鍵をつなぐと、ネバリの無い、歯切れの良い符号となる。

5. 縦振り電鍵

上記2)の状態 dash端子に縦振り電鍵をつなぎ、VRを調整すると、規定の長さの符号となる。